課題別地域保健医療推進プラン

職域及び大学における歯科健診受診勧奨事業

資料４－１

１　事業実施までの経緯と目標

学校保健安全法に基づく歯科健診は高等学校までに限られており、成人後は進学、就職等による生活環境の変化に伴い、定期的な歯科受診の機会が減少する可能性がある。

一方、令和６年度から、健康増進法に基づき区市町村が実施する歯周病検診の対象者に 20 歳及び 30 歳が追加された。生涯にわたり歯と口腔の健康を維持、増進するため、若年層からの普及啓発が求められている。

そこで、管内５市のうち、大学数が最も多い小平市を対象地域として選定し、小平市内の大学に在籍する学生、教職員及び小平商工会関係者等を対象に、口腔の健康に関する意識の向上を図ることを目標とした。

２　事業内容

＜令和６年度の事業＞

・市内大学２校及び小平商工会に協力を依頼し、「歯科健診受診促進のための検討会議」を設置。
・学生、教職員、小平商工会関係者等を対象にアンケート調査を実施。
・大学では、アンケート調査と併せて小平市歯科医師会による歯科相談を実施。

＜令和７年度の事業＞

（１）第１回検討会議の開催

令和６年度事業の振返り、アンケート調査結果の共有及び令和７年度事業内容の検討を行った。

（２）普及啓発ツールの作成、活用

令和６年度のアンケート調査結果を踏まえ、若年層や職域に届きやすい普及啓発ツールを作成した。主な取組は以下のとおりである。

○ オリジナルキャラクターの作成

多摩小平保健所オリジナルキャラクターの「あらうさぎ」、「ますくま」とともに普及啓発を行うため、歯みがきと動物（きつね）をかけて「はみがきつね」という新キャラクターを作成した。



〈オリジナル新キャラクター〉

○ キャッチフレーズの作成

生涯にわたり自身の歯を守るためには、歯みがき等自身で行うセルフケアと歯科医療機関で歯科健診や予防処置等を行ってもらうプロフェッショナルケアが必要である。そこで、「**毎日歯みがき×ときどき健診**」というキャッチフレーズを作成し、「はみがきつね」とともに啓発時に活用した。

○ 西武バス掲示用ステッカーの作成、掲示

西武バスに、歯科健診受診促進のために作成したステッカーを令和７月年度月年１１月から令和８年１月末までの３か月間掲示した。



〈西武バス掲示ステッカー〉

○ **ポスター、ステッカーの作成、掲示**

各市役所、コミュニティバス、図書館等の公共施設、大学、小平商工会館、各市医師会、歯科医師会や小平市歯科医師会会員の歯科診療所等でポスター及びステッカーを掲示した。



〈ポスターA2 版〉



〈ステッカー〉

○ **ショート動画の作成**

検討会議の委員の中から大学関係者を委員として分科会を立上げ、意見交換を行い、動画を作成した。

作成した動画は、大学や商工会等での普及啓発で配信の他に保健所のホームページや都保健所 YouTube に掲載した。

〈普及啓発動画の二次元コード〉



〈普及啓発動画〉

○ **普及啓発グッズの作成、配布**

歯科健診受診促進の普及啓発のためオリジナルグッズを作成し、アンケート調査時等に配布した。



〈普及啓発グッズ（ポーチ）〉


〈普及啓発グッズ（バンダナ）〉

（3）動画視聴、アンケート調査等の実施

動画視聴後の歯科保健に関する意識の変化等を把握するため、対象別にアンケート調査を実施した。

【大学生、教職員等】

小平市内の大学で形成される「小平市大学連携協議会～こだいらブルーベリーリーグ～」を通して、各大学に動画視聴とアンケート調査、ポスター、ステッカーの掲示等普及啓発活動の参加を依頼した。


〈大学でのアンケート調査会場の様子〉

【小平商工会会員】

小平商工会で開催された会議内で会議に出席した委員に対し、動画視聴とアンケート調査を実施した。

【小平市成人歯科健診受診者】

小平市歯科医師会の協力を得て、令和 7 年 11 月中旬から令和 8 年 2 月末までに小平市成人歯科健診を受診した 20 歳から 39 歳までの方を対象とし、動画視聴とアンケート調査を実施した。

（4）第２回検討会議の開催

令和 7 年度の事業の振返りやアンケート調査の結果を共有した。

会議では、２年間本事業を行うことにより大学や商工会内で口腔や歯科健診に対する意識、関心が高まったという感想があった。

3　アンケート調査結果

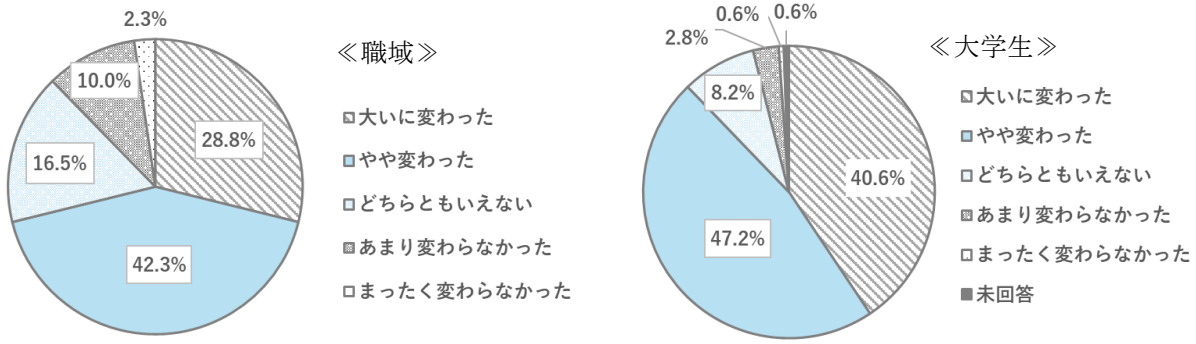
（1）動画視聴後のアンケート調査

職域（市内大学５校に勤務する教職員及び小平商工会会員）と大学生（市内大学５校に在籍する学生）を対象に実施し、合計 622 名から回答を得た。有効回答数は職域 261 名、大学生 352 名であり、有効回答率は 98.6%であった。

≪職域≫
平均年齢： 50.1 歳　性別：男性 40.8%、女性 57.7%、回答したくない 1.5%
≪大学生≫
平均年齢： 20.3 歳　性別：男性 23.9%、女性 73.3%、回答したくない 2.0%、未回答 0.9%

○アンケート調査結果一部抜粋

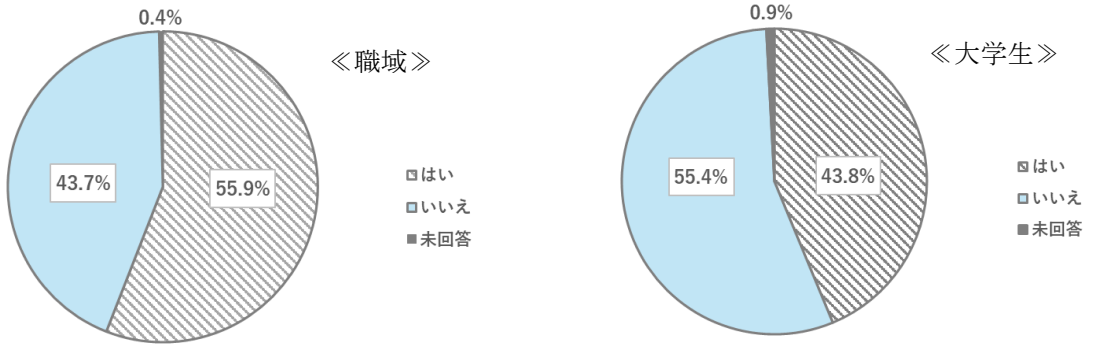
動画を見て歯や口に対して意識が変わりましたか。



「大いに変わった」、「やや変わった」と回答した者は、職域で 71.1%、大学生で 87.8%であった。

動画を見た感想として、職域、大学生ともに「歯の大切さがわかった」と回答した者が多かった。

お住まいの市区町村が歯科健診を行っていることをご存じですか。



「知っている」と回答した者は、職域で 55.9%、大学生で 43.8 であった。

本調査対象には令和６年度に周知活動を行った２大学も含まれていることから、「知っている」と回答した者の割合の向上がみられたと考える。

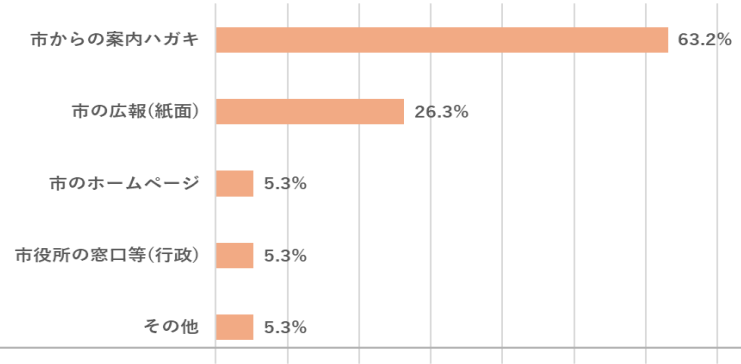
（２）小平市成人歯科健診に関するアンケート調査

令和７年１１月１７日（月曜日）から令和８年２月２８日（土曜日）までに、小平市歯科医師会会員が在籍する歯科医院で小平市成人歯科健診を受診した者を対象に実施し、22 名から回答を得た。有効回答数は 19 名、有効回答率は 86.4％であった。

平均年齢： 26.6 歳　　性別：男性 31.6%、女性 63.2%、回答したくない 5.3%

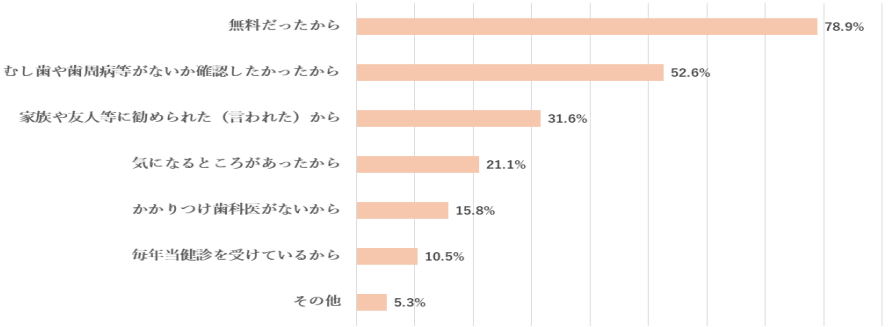
○アンケート調査結果一部抜粋

小平市の成人歯科健診をどこで知りましたか。



「市からの案内ハガキ」(63.2%) と回答した者が最も多く、次いで「市の広報（紙面)」(26.3%) が続いた。

今回小平市の成人歯科健診を受けた理由を教えてください。



「無料だったから」(78.9%) と回答した者が最も多く、次いで「むし歯や歯周病がないか確認したかったから」(52.6%) が続いた。

４　まとめ

令和７年度は、前年度のアンケート調査結果を踏まえ、ショート動画、ポスター、ステッカー等の普及啓発ツールを作成し、大学や商工会等で活用した。併せて効果測定のためのアンケート調査を実施し、口腔の健康や歯科健診に対する意識の向上を確認することができた。

事業実施後、商工会からは「本事業をきっかけに、身体の健康だけでなく口腔の健康についても引き続き会員へ普及啓発していきたい」との声があった。また、大学では学内で歯科医師会による歯科健診を行う取組につながった。

今後も、多摩小平保健所では、今回の取組を踏まえ、職域や大学生を中心に口腔の健康に関する意識の向上を図り、市民の口腔の健康の維持増進に寄与していく。